



三 芳 野

目指す 活かに満ち、
学校像 さわやかで、
心なごむ学校

生徒数 274名 1年生 92名 2年生 68名 3年生 114名

新学期開始はまだ先ですが、「チーム野田中」で頑張ります

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、緊急事態宣言の発令もあって4月から新学期がスタートできません。本来なら、92名の新1年生が真新しい制服に身を包み、野田中生として第一歩を踏み出すはずだったのに…。2・3年生もクラス分けに歓声を上げながら、新たな目標をもって始業式に臨むはずだったのに…。そう思うと残念でなりません。しかし、何より大切なのは生徒たちの安全と健康、そして限りある命です。臨時休業の延長はやむを得ない措置と受け止めて、私たち野田中の教職員は、5月の連休明けに学校を再開して生徒たちを迎えられるよう万全の準備を整えていくつもりです。休業中にできなかった学習をどうするか、5月以降に再開するにあたり、年間の行事計画をどのように見直すか、課題が山積していますが、一つ一つ解決に向けて取り組みます。

今後の日程ですが、臨時休業の措置がどこまで続くかにもよりますが、5月7日（木）に入学式・始業式を実施する予定です。時間・内容等は現時点では未定ですが、詳しいことが決まり次第、学校から配信するメールや学校のホームページでお知らせします。それまでお待ちください。

さて、本来なら入学式・始業式で生徒たちに話そうと考えていたことをこの場を借りて簡単にお伝えします。今年度から本校では学校教育目標を改めました。

- 1 志高く、学び考え実践する生徒
- 2 心豊かで、認め合い高め合う生徒
- 3 心身を鍛え、命を慈しむ生徒

1 志高く、学び考え実践する生徒

川越市の教育行政方針にも、「志を高くもち、自ら学び考え、行動する子ども」の育成が示されています。本校で学ぶ生徒にも、前向きに、意欲をもって生きていくために高い志をもたせたいと考えました。また、「学ぶ」ことが大切なのは、衆目の一致するところですが、「学ぶ」とは、本来の意味では人から教えを授かり、それを真似ることによって自分のものとしていくことです。『論語』の一節にも、「学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）。」とあります。これは、「学んで、その学んだことについて十分に考えなければ、身に付くことはない。また、自分で考えるだけで人から学ぼうとしなければ、考えが凝り固まってしまい危険である」という意味です。学ぶことと考えることは一体であるべきで、学び考えたことを実践することで、「生きる力」が身に付くと考え、目標を改めました。

2 心豊かで、認め合い高め合う生徒

豊かな心とは、困っている人には優しく声を掛けたり、ボランティア活動など人の役に立つことを進んで行ったりする心であり、喜びや感動を伴って植物や動物を育てたり、自分の成長を感じ生きていることを素直に喜んだり、美しいものを美しいと感じることができる心です。また、他者との共生や異なるものへの寛容さをもてる感性や、それらを大切にできる心です。こうした心情を育みながら、お互いの相違点を理解・尊重して望ましい人間関係を構築するとともに、切磋琢磨して高め合える生徒を育てたいと考えています。

3 心身を鍛え、命を慈しむ生徒

生徒たちが、先行き不透明な10年、20年を幸せに生き抜くためには、たとえ困難な局面や辛く苦しい場にあっても、それを乗り越えていけるような、心身共にたくましい人間に育てなければなりません。そのためには健康教育や食育、保健体育等の充実が欠かせません。また、近年頻発している自然災害に主体的に対応できる資質・能力の育成も、これからの学校教育には不可欠です。自他の命それぞれが限りあるものであり、それらを大切に慈しむことのできる生徒を育てるとともに、喫緊の課題であるいじめの根絶や自殺防止にも全校を挙げて取り組みたいと考えて目標を改めました。

今年度も本校の教育活動に、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

